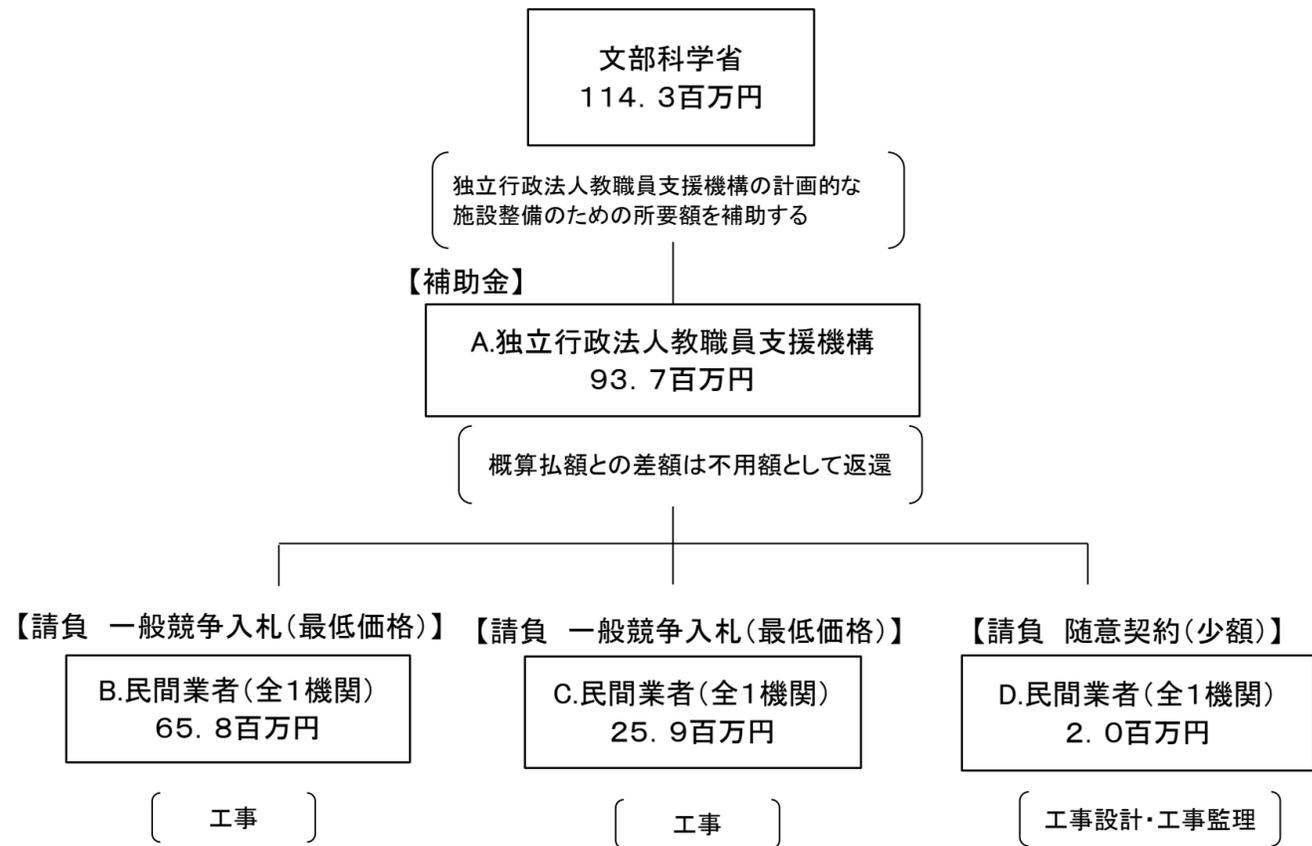


令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	独立行政法人教職員支援機構施設整備に必要な経費			担当部局	総合教育政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	教育人材政策課	教育人材政策課長 後藤 教至	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人教職員支援機構法 第三条、第十条			関係する 計画、通知等	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 中期目標(文部科学大臣指示) 中期計画(文部科学大臣認可) 国土強靱化基本計画		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	1-3 魅力ある教育人材の養成・確保						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-3.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	独立行政法人教職員支援機構の施設の整備充実を通じ、校長、教員その他の学校教育関係職員に対する研修等を行うことにより、その資質の向上を図ることを目的とし、教育委員会や民間機関等では担うことのできない、国として真に実施すべき研修を総合的・一元的に実施する。						
現状・課題 (5行程度以内)	使用頻度が極めて高い第二研修棟の空調設備や外壁について老朽化が進んでいることから、空調機器の更新及び外壁等の改修工事を行い、受講者が安全・安心に研修に専念できる研修・宿泊環境の形成及び災害時の一時避難所としての環境整備を図る必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	独立行政法人教職員支援機構が設置する施設について、老朽化や機能向上のための施設整備を計画的に行う。 当機構の施設は、昭和48年から順次建設された旧国立教育会館の施設を利用しているが、これまで耐震改修以外の大規模改修は行われておらず、建築から40年以上が経過して経年劣化が著しい状況となっており、一部の設備については修理が不能な状況となっている。このため、適切な施設の維持を図り、受講者が問題なく研修に専念できる研修環境と宿泊環境の形成と災害時の一時避難所としての環境を確保するため、計画的な整備を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	補助率:100%						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	127	185.7	184.6	
		令和5年度第1次補正予算				184.6	
		前年度から繰越し(C)	193	-	127	185.7	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	▲127	▲185.7	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	193	-	127	370.3	279.1
		執行額(G)	193		114.3		
		執行率(%) =(G)/(F)	100%	-	90%		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	62%		
		令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)	独立行政法人教職員支援機構施設整備費			重要政策推進枠 279百万円			
(目)	独立行政法人教職員支援機構施設整備費補助金	185.7	279.1				
	計(A)	-	279.1				

活動内容① (アクティビティ)		機構の施設・設備の老朽化及び機能向上のための整備を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		施設機能の強靱化を図るために、施設・設備を整備する	施設・設備の整備件数	活動実績	件	3	-	2	2	-
				当初見込み	件	3	-	2	5	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 研修施設を整備しても、計画通り竣工しなければ、「教職員の資質向上」に繋げること及び災害時の一時避難所としての生活環境を確保することができない。そのため、「施設・設備の整備を図る事業が計画通り竣工する」ことを成果目標とした。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 19 年度	
		施設・設備の整備を図る事業が計画通り竣工する	計画どおり竣工された施設・設備件数	成果実績	件	3	-	2	-	
				目標値	件	3	-	2	-	
				達成度	%	100	-	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人教職員支援機構 令和4年度業務実績報告書								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		施設・設備の整備であるため、段階的なアウトカムの設定が困難であることから、長期アウトカムのみを設定した。								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

事業所管部局による点検・改善										
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ①について着実に取り組んでいることが確認された。 ・令和3年度補正予算の繰越分について、適切に執行されたことが確認された。 ・令和4年度補正予算について、令和5年度に繰越されているが、これについては工事の実施にあたり、専門業者による現地調査を行ったところ、工事対象箇所やその周辺の劣化が事前の想定以上に著しいことが判明し、改修工法や範囲を再検討する必要性が生じたため、実施計画の策定及び設計業務に不測の日数(約3ヶ月)を要する計画となったこと。また、それに伴い、本体工事が新年度へ後ろ倒しとなり、新年度の施設利用予定に配慮した日程調整が必要となることから、工事期間についても不測の日数(約9ヶ月)を要する計画となったことが理由であることが確認された。 						目標年度における効果測定に関する評価(令和20年度実施)			
	-									
改善の方向性	令和5年度は、令和4年度補正予算により措置された事業を確実に実施するとともに、令和6年度以降についても、文部科学大臣の指示された中期目標に基づき、制定された中期計画に沿って計画的に事業を進めていく必要がある。									
外部有識者の所見										
本事業については、引き続き計画通りに遂行されることを期待する。(西野委員)										
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見										
現状通り	この事業は、外部有識者の点検、事業所管部局による自己点検及び行政事業レビューワーキングチームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
現状通り	引き続き適切な計画と執行に努める。									
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ									
	-									
	上記への対応状況									
	-									
	その他の指摘事項									
	-									
上記への対応状況										
-										
備考										
-										
関連する過去のレビューシートの事業番号										
平成23年度	0125									
平成24年度	0132									
平成25年度	0096									
平成26年度	0099									
平成27年度	0094									
平成28年度	0090									
平成29年度	0095									
平成30年度	0096									
令和元年度	文部科学省	-		0025						
令和2年度	文部科学省			0026						
令和3年度	2021	文科	20	0025						
令和4年度	2022	文科	21	0025						

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建物他	第二研修棟空調設備改修工事他一件に必要な経費	93.7	建物	第二研修棟空調設備改修工事	65.8
計		93.7	計		65.8
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建物	第二研修棟等外壁改修工事	25.9	委託費	工事管理業務	2
計		25.9	計		2

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人教職員支援機構	8050005005214	B~Dに記載のため省略	93.7	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本ファンリオ株式会社 関東支店	8010401028417	第二研修棟空調設備改修工事	65.8	一般競争契約 (最低価格)	5	86.4%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社東建商	2050001005768	第二研修棟等外壁改修工事	25.9	一般競争契約 (最低価格)	6	31.1%	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社スペースデザイン	2040001070994	工事管理業務	2	随意契約(少額)	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック